

平成 21 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社プロジェ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 上 野 孝 一  
(コード番号：3114 名証・大証第二部)  
問合せ先 取締役 社長室長 森 田 宏 文  
電話番号 (03) 5777-5152

当社の親会社 ステラ・グループ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 古 川 善 健  
(コード番号：8206 大証第二部)

## 子会社株式の譲渡および特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、平成 21 年 8 月 6 日開催の取締役会において、当社の 100%子会社である株式会社サイバーリップル（代表取締役社長 林 竜二：以下「サイバーリップル」といいます）の全株式を、サイバーリップル代表取締役社長である林 竜二氏（以下「林氏」といいます）に譲渡することを決議いたしました。また、それに伴い特別利益が発生することになりますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式譲渡の理由

当社は平成 20 年 6 月 16 日付「株式会社サイバーリップルの株式の取得及び株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」および平成 20 年 7 月 14 日付「(変更)「株式会社サイバーリップルの株式の取得及び株式交換による完全子会社化に関するお知らせ」の一部変更に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、当社の主幹事業である不動産事業の縮小に伴い、当社グループの事業構成の多角化を図るべく、サイバーリップルによる I T 広告事業を新たな収益の柱としていく目的で、林氏より 100 百万円にて全株式を取得し、100%子会社化を行いました。

株式取得時には、サイバーリップルは大口顧客を有しており、当社グループの新たな収益の柱となる、と期待しておりました。しかし、その後の経済環境の大幅な変化に伴い、企業の広告宣伝費の大幅削減傾向が顕著になる中、サイバーリップルにおいても設立当初からの大口顧客であり、今後数年間は安定して受注できると見込んでいたクライアントからの受注が大幅に減少するなど、平成 21 年 2 月期実績は株式取得時の業績予想を大幅に下回る結果となりました。

このため当社連結における平成 21 年 2 月期の広告事業部門は 15 百万円の営業損失となり、平成 21 年 3 月 19 日付「特別損失の計上に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、サイバーリップルの「のれん」の減損損失として約 74 百万円（連結）、関係会社株式評価損として約 101 百万円（個別）の特別損失を計上いたしました。

当社およびサイバーリップルといたしましては、I T 広告中心の営業から、より幅広い広告の受注を目指した営業展開にシフトすると同時に、経営コストの圧縮に努めてまいりました。しかし景気回復の見通しは依然不透明であり、サイバーリップルの有する事業ノウハウを活かし、同社の業績の回復を図るためには、新たな事業パートナーとの連携を含めた大幅な改革が必要であるとの結論に至りました。また当社としましても、「選択と集中」という観点から、現状推進しております「完成物件の買取り、再販事業」を中心とした不動産事業と、長年の実績のある繊維事業に経営資源を集中することが最適と判断いたしました。

本件については、サイバーリップルより、自ら主導となり当社から独立した立場で新たな事業パートナー候補との交渉を進めたいとの申し出があり、そのために当社の保有する同社の全株式を林氏に売却することといたしました。

## 2. 譲渡する子会社の概要

- (1) 商号 : 株式会社サイバーリップル
- (2) 代表者の氏名 : 代表取締役社長 林 竜二
- (3) 本店所在地 : 東京都中央区入船二丁目2番3号
- (4) 設立年月日 : 平成19年1月5日
- (5) 主な事業内容 : 広告代理店業務、インターネット全般に関するマーケティング
- (6) 決算期 : 2月末日
- (7) 従業員数 : 3人(平成21年7月31日現在)
- (8) 資本金の額 : 5,000千円(平成21年2月28日現在)
- (9) 発行済株式数 : 200株(平成21年2月28日現在)
- (10) 株主構成および所有割合 : 株式会社プロジェ・ホールディングス 200株(所有割合 100%)
- (11) 最近事業年度における業績の動向 : (単位:千円)

区 分	第1期 (平成19年8月期)	第2期 (平成20年8月期)	第3期 (平成21年2月期)
売 上 高	314,759	447,891	79,332
経 常 利 益	8,133	7,427	△10,077
当 期 純 利 益	4,815	4,462	△10,110
総 資 産	121,924	68,197	23,597
純 資 産	14,815	19,277	9,167

※ 第1期は平成19年1月5日に設立のため、平成19年1月5日から平成19年8月31日までの決算となっております。

※ 第3期は決算期を従来の8月31日から2月末日へ変更したため、平成20年9月1日から平成21年2月28日までの6ヶ月決算となっております。

## 3. 株式の譲渡先および譲渡株式数、譲渡価額、譲渡前後の諸通株式の状況

- (1) 譲 渡 先 : 林 竜二(株式会社サイバーリップル 代表取締役社長)
- (2) 譲渡前の所有株式数 : 200株(所有割合 100%)
- (3) 譲 渡 株 式 数 : 200株
- (4) 譲渡後の所有株式数 : 0株(所有割合 ー%)
- (5) 株 式 譲 渡 価 額 : 60,000,000円(単価 300,000円)

## 4. 今後の日程(予定)

平成21年8月6日 株式譲渡契約締結

平成21年8月10日 株式譲渡および株式譲渡代金受領(予定)

## 5. 特別利益の発生

① 関係会社株式売却益 約57百万円(連結)

② 関係会社株式売却益 約60百万円(個別)

本件譲渡により、サイバーリップルは当社連結決算においては第2四半期末をもって離脱いたします。また、本件譲渡により関係会社株式売却益として連結において約57百万円、個別において約60

百万円の特別利益が発生する見込みであります。（当社はサイバーリップルの全株式を 100 百万円で取得しました。しかしその後の受注減少等により平成 21 年 2 月期における広告事業部門は 15 百万円の営業損失となり、平成 21 年 3 月 19 日付「特別損失の計上に関するお知らせ」にて発表いたしましたとおり、サイバーリップルの「のれん」の減損損失として約 74 百万円（連結）、関係会社株式評価損として約 101 百万円（個別）の特別損失を計上いたしております。）

#### 6. 今後の見通し

平成 22 年 2 月期の通期業績への影響につきましては、現在精査中であり、業績予想の修正を要する場合には、判明次第お知らせいたします。

以上